

人生ハンド仏句

第122号

H. 24. 5. 1
(毎月1日発行)

日蓮聖人の生涯 ③

「立正安国論と

幕府に献上」

住職 谷川 寛俊

日蓮聖人が鎌倉に草庵を構えた建長年間から天災地変が相次ぎました。正嘉元年（一，二五七）には大地震が起こり、同二年には大風、同三年大飢饉（ききん）、正元年（一，二五九）と同二年には大疫病（えきびょう）に見舞われました。人々は天候不順による凶作、それに関連する疫病の流行で苦しみ、死者は巷（ちまた）にあふれるという悲惨な状況でした。

この惨状を目撃した聖人は、大疫病と大災害が続いて人々が苦しまなければならない原因を探り、

その解決の方途を求める為に、膨大な経文に取り組みました。駿河国（静岡県）にある岩本実相寺の経蔵にこもり、一切経を読破されたのです。

その結果、いまこそ法華経の予言が現実のものになっていく時であるとの答えを見出し、その趣旨を「立正安国論（字の如く正しい法を立てて国を安泰にする）」としてまとめ、時の執権北條時頼（今の総理大臣に当る人）に差し出したのです。「立正安国論」は、旅の客が悲惨な現状を乗り越えるにはどうしたら良いかという事を庵室の主人に問い、主人がそれに答えるという問答形式になっています。

主人は、多くの經典から災害の原因をあげた上で、特に、来世を願い、この世を捨てている浄土教の教えこそ、仏教の真の教えを否定するものだ」と結論し、「早く信仰の寸心を改め速やかに実乗の一善（法華経）に帰せよ」と、法華経の救いを確かめ、

「人生ハンド仏句」

と打ち込んで頂けば、
ホームページにつながります。

編集・発行
玉蓮山 真成寺
編集部 谷川久仁子
TEL・FAX 0765-22-2268

それによる以外に、個人の内面の安心立命と、社会の平和と安定を実現する方途はないと述べられています。さらに「立正安国論では、正しい教えである法華経を用いないと、疫病や災害だけでなく戦争が国の内外に起こると予言されています。

この予言は的中し、後年、内にあつては北條時輔の乱が起こり、外にあつては蒙古襲来という民族存亡の危機に直面することになったのです。

次号に続く



宗教とは 大いなるものの
お陰を感謝して 暮らすことです

お知らせ

◎祠堂大法要

五月二十七日(日)

・午前十一時 ご法要

(各家先祖のご回向)

・午後一時 ご法話

射水市

恵命庵御主

岩村啓立上人

・午後二時 大法要

(今年永代供養加入者各霊位御回向)

尚、十二時より昼食の準備がして御座いますので、ご遠慮なくお召し上がり下さいませ。

給仕(お講)当番は魚津三班の方々です。

どうぞ宜敷くお願いいたします。



◎毎月一日祈禱会

・午前五時から

早朝のお参りは気持ちの良いものです。ご祈禱を受けて、霊神符(お守り様)を頂きましょう!

◎水子供養会

・毎月十三日

・午後一時半より

◎唱題行脚

・毎月二十八日

・午後一時半より

先月の参加者

谷川寛敬・高木昶・土居可久子・

高円富美子・阿閉江里子・谷川久仁子

※ 地鎮祭・新車・新築・
じちんさい

改築のお祝い、秘妙五段の特別祈禱で、いつでもお気楽にお申し込み下さい。



ラニ・フラ・ホア



やっと季候が良くなり、フラの似合う季節に成ってまいりました。

来る6月2日(土)「環水公園ハワイアンフェスティバル」が開催されます。午後6時から20分間ラニ・フラ・ホアも出演いたします。ご来場下さい!

イリマクラス

・毎週火曜日

昼の部・午後一時三十分～二時三十分
夜の部・午後六時三十分～七時三十分

プルメリアクラス

・毎週火曜日

昼の部・午後二時半～四時
夜の部・午後七時半～九時

レフアクラス

・月一回 月曜日

午後一時～三時四十分

滑川教室

・第二・四 金曜日

午前十時～十一時半

金山谷教室

・第一・三 金曜日

午後七時半～九時

大町フラサークル

・第一・第三 土曜日

午後二時～三時半

富山教室

・月二回 水曜日

午後七時半～九時

高岡教室

・第三 木曜日

午後七時半～九時

老人クラブ

・第一・二 水曜日

午後一時半～三時